



## 2020年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月12日

上場会社名 株式会社シャノン 上場取引所 東  
 コード番号 3976 URL https://shanon.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 健一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理担当 (氏名) 友清 学 TEL (03) 6743-1551  
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年10月期第1四半期の連結業績（2019年11月1日～2020年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第1四半期	524	20.6	33	—	31	—	31	—
2019年10月期第1四半期	434	1.5	△37	—	△40	—	△40	—

(注) 包括利益 2020年10月期第1四半期 31百万円 (—%) 2019年10月期第1四半期 △40百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第1四半期	22.41	22.28
2019年10月期第1四半期	△29.07	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、2019年10月期第1四半期は、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第1四半期	1,073	480	44.7
2019年10月期	991	355	35.7

(参考) 自己資本 2020年10月期第1四半期 479百万円 2019年10月期 354百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年10月期	—	—	—	—	—
2020年10月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年10月期の連結業績予想（2019年11月1日～2020年10月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,950	5.1	50	36.4	46	73.2	40	62.5	28.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年10月期 1 Q	1,445,550株	2019年10月期	1,390,100株
② 期末自己株式数	2020年10月期 1 Q	50株	2019年10月期	50株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年10月期 1 Q	1,409,152株	2019年10月期 1 Q	1,389,461株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々は要因により大きく異なる可能性があります。

機関投資家・アナリスト向けの説明会は当第1四半期では開催しませんが、決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するクラウドサービス市場においては、クラウドサービスを利用している企業の割合は引き続き上昇傾向にあります。総務省の平成30年「通信利用動向調査」によると、2018年度末におけるクラウドサービス利用企業の割合は58.7%（前年56.9%）に拡大しております。また、同調査によると、資本金規模別のクラウドサービス利用状況においても、大企業を中心に引き続きその利用率は拡大傾向にあります。このように成長を続けるクラウドサービス市場の中で、当社が属するマーケティングオートメーション（SaaS）分野も例外ではなく、今後も16.1%（2018～2023年度の年平均成長率）の市場成長率が見込まれております（出展：株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2019年版」）。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間における売上高は、堅調に推移しました。また、費用面についても概ね想定通りに推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は524,127千円（前年同期比20.6%増）、営業利益は33,317千円（前年同期は営業損失37,971千円）、経常利益は31,885千円（前年同期は経常損失40,074千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31,573千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失40,386千円）となりました。

当社グループはマーケティングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報との関連についての記載はしておりません。サービス別の売上高の概況は以下のとおりであります。

#### a マーケティングオートメーション

当サービスについては、サブスクリプション売上（システム利用料に関するMR R（月額契約金額）から発生する売上＋従量課金売上）は堅調に推移し、当初想定を上回った結果、233,582千円（前年同期比18.3%増）となりました。当第1四半期のMR R（月額契約金額）の積上げ金額も、大型の案件が多かった前年同期の水準は下回るものの順調に推移しています。なお、サブスクリプション売上のうち、従量課金売上は、前年同期比31.9%の減少となっています。この主な要因は、前期に既存契約のアップグレードが堅調に推移したことにより、そこで発生していた従量課金売上に相当する部分が、当期はシステム利用料に関するMR R（月額契約金額）に集計されているためであります。一方で、プロフェッショナルサービス売上については、納品時期に遅れが発生し、売上計上が第2四半期にずれ込んだ案件があり、当初想定を下回って推移した結果、100,831千円（前年同期比1.0%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における契約アカウント数は、426アカウント（前期末比1.7%増）、当第1四半期連結累計期間における売上高は334,413千円（前年同期比11.7%増）となりました。

#### b イベントマーケティング

当サービスにおけるイベント（システム支援、会期当日支援）関連の売上は、前連結会計年度のリピーター案件、新規案件ともに順調に推移したことやイベント会期との関係により、前年同期はイベント関連の売上水準が低かったことも要因となり、前年同期比では大幅な増加となりました。また、経営判断の下、縮小することとなったイベントプロデュースに関連する売上高も前年同期で減少しました。なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う各種イベント中止の影響が通期業績に与える影響につきましては、当第1四半期の決算発表時点においては限定的であると判断しています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は189,713千円（前年同期比40.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、1,073,463千円（前連結会計年度末991,514千円）となり、81,949千円の増加となりました。このうち、流動資産は529,015千円（前連結会計年度末455,831千円）となり、73,183千円の増加となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が60,165千円増加したことによるものであります。また、固定資産は543,015千円（前連結会計年度末534,130千円）となり、8,885千円の増加となりました。この主な要因は、敷金の増加5,900千円によるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、593,073千円（前連結会計年度末635,601千円）となり、42,528千円の減少となりました。このうち、流動負債は389,656千円（前連結会計年度末390,591千円）となり、935千円の減少となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が45,774千円増加、また、短期借入金が25,130千円、賞与引当金が33,932千円それぞれ減少したことによるものであります。また、固定負債は203,417千円（前連結会計年度末245,010千円）となり、41,593千円の減少となりました。この主な要因は、社債が15,000千円減少、長期借入金が26,593千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、480,390千円（前連結会計年度末355,912千円）となり、124,477千円の増加となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が31,573千円増加したこと、新株予約権の行使に伴う新株の発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ46,749千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の通期の業績予想につきましては変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	177,626	188,548
受取手形及び売掛金	187,447	247,613
仕掛品	33,640	24,523
その他	59,692	71,879
貸倒引当金	△2,575	△3,549
流動資産合計	455,831	529,015
固定資産		
有形固定資産	36,980	36,318
無形固定資産		
ソフトウェア	262,994	269,852
ソフトウェア仮勘定	70,797	63,730
その他	123	548
無形固定資産合計	333,915	334,131
投資その他の資産		
その他	163,234	172,565
投資その他の資産合計	163,234	172,565
固定資産合計	534,130	543,015
繰延資産	1,552	1,433
資産合計	991,514	1,073,463
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,967	91,742
短期借入金	25,130	—
1年内返済予定の長期借入金	98,547	99,400
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
未払法人税等	6,564	3,543
賞与引当金	58,752	24,820
その他	125,630	140,150
流動負債合計	390,591	389,656
固定負債		
社債	75,000	60,000
長期借入金	170,010	143,417
固定負債合計	245,010	203,417
負債合計	635,601	593,073
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	386,973	433,723
資本剰余金	307,685	354,435
利益剰余金	△339,643	△308,069
自己株式	△282	△282
株主資本合計	354,733	479,806
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△536	△358
その他の包括利益累計額合計	△536	△358
新株予約権	1,715	942
純資産合計	355,912	480,390
負債純資産合計	991,514	1,073,463

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
売上高	434,486	524,127
売上原価	190,521	221,234
売上総利益	243,965	302,893
販売費及び一般管理費	281,937	269,575
営業利益又は営業損失(△)	△37,971	33,317
営業外収益		
受取利息	31	13
受取手数料	—	36
その他	0	2
営業外収益合計	31	52
営業外費用		
支払利息	810	771
社債利息	152	118
為替差損	380	474
社債発行費償却	119	119
保険解約損	670	—
営業外費用合計	2,134	1,484
経常利益又は経常損失(△)	△40,074	31,885
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40,074	31,885
法人税、住民税及び事業税	311	311
法人税等合計	311	311
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,386	31,573
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△40,386	31,573

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,386	31,573
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	29	177
その他の包括利益合計	29	177
四半期包括利益	△40,356	31,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,356	31,751
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本準備金がそれぞれ46,749千円増加しております。これにより、当第1四半期連結会計期間末において資本金が433,723千円、資本剰余金が354,435千円となっております。